

3. 調整槽

10分間に流れる送泥量の1.5倍の量(V₀)を満足するものとする。

$$[V_0] = 3.15 \times 10 \times 1.5 = 47.25 \quad (\text{m}^3)$$

攪拌機付水槽

	容量(m ³)	出力(kw)	質量(t)	台数
	10	2.2	2.0	
	15	3.7	2.5	
	20	5.5	3.2	
	25	5.5	3.6	2

4. 余剰泥水槽

処理泥水量(V₁₁)を満足するもので、かつ二次処理機1回当りの機械容量に対する処理泥水量を満足するものとする。

$$[V_{11}] = 5.314 \quad (\text{m}^3/\text{本})$$

攪拌機付水槽

	容量(m ³)	出力(kw)	質量(t)	台数
	10	2.2	2.0	1
	15	3.7	2.5	
	20	5.5	3.2	
	25	5.5	3.6	

5. スラリー槽

余剰泥水槽と同じものを使用する。

攪拌機付水槽

	容量(m ³)	出力(kw)	質量(t)	台数
	10	2.2	2.0	1
	15	3.7	2.5	
	20	5.5	3.2	
	25	5.5	3.6	

6. ろ水槽

二次処理機により発生するろ水〔V₁₃〕を満足するものとする。

$$〔V_{13}〕 = 0 \quad (\text{m}^3/\text{本})$$

水槽

	容量(m ³)	質量(t)	台数
	10		
	15		
	20		
	25		

7. 清水槽

比重調整用投入清水量〔V₁₀〕を満足するものとする。

$$〔V_{10}〕 = 4.115 \quad (\text{m}^3/\text{本})$$

水槽

	容量(m ³)	質量(t)	台数
	10		1
	15		
	20		
	25		

8. 粘土槽

比重調整用投入泥水量〔V₉〕を満足するものとする。

$$〔V_9〕 = 0.00 \quad (\text{m}^3/\text{本})$$

粘土槽

	容量(m ³)	出力(kw)	質量(t)	台数
	3	4.0	1.05	
	5	8.0	1.45	

9. CMC槽

CMC槽は3m³槽を標準とする。

溶解槽(CMC槽)

	容量(m ³)	出力(kw)	質量(t)	台数
	3	2.0	0.7	1

10. PAC槽

PAC (薬品)槽は6m³ポリエチレン製槽を標準とする。

11. アルカリ中和装置

水過不足計算において(V₁₄)が正の値となった場合に計上し、6m³/hを標準とする。

本計算においては余剰水が発生しないため計上しない。

12. 土砂ホッパ

一次分離器で回収された砂礫(V₄)及び脱水ケーキ(V₁₂)の合計量を満足する容量とする。

$$\begin{aligned} \text{土砂量} &= (V_4 + V_{12}) \times n \\ &= (5.539 + 1.4) \times 1.93 \\ &= 13.4 \end{aligned}$$

土砂ホッパ及びベルトコンベア

	土砂ホッパ		ベルトコンベア	
	容量(m ³)	容量(t)	寸法	出力(kW)
	10	5.5	600mm × 20m	4.0
	20	9.0		
	30	13.5		